

平成27年「学校評価」アンケートについて

平成27年7月に実施した学校評価アンケートについて、分析結果を報告します。回答結果は、全て小数点以下第2位を四捨五入したものです。

1. 加重平均値に対する分析

生徒、保護者、教職員に対するアンケート結果について、加重平均値を計算します。加重平均値とは、それぞれ、Aよくそう思う：4点、Bだいたいそう思う：3点、Cあまりそう思わない：2点、D全くそう思わない：1点に換算した評価点に、その評価に該当する人数を乗じた数値を平均した値です。回答者全員が「A よくそう思う」を選択した場合に加重平均値は4.0になり、回答者全員が「D 全くそう思わない」を選択した場合に加重平均値は1.0になります。つまり、今回の加重平均値は、1.0から4.0までの数値になります。加重平均値が1.0に近いほど否定的な評価となり、4.0に近いほど肯定的な評価となります。

平成27年7月に実施したアンケート結果の加重平均値について、表1に示します。ただし、表1における保護者と教職員の回答結果は、生徒用の設問を保護者と教職員のそれぞれの視点から見たものに変更して実施したアンケート結果の加重平均値を表示しています。

表1：平成27年7月に実施したアンケート結果の加重平均値

生徒用の設問	生徒	保護者	教職員
問1 私は、あいさつを自分から先にしている	3.2	3.1	3.5
問2 私は、自分の考えを言葉で表現できる	3.0	2.9	3.5
問3 先生は、わかりやすく教えている	3.3	3.1	3.3
問4 私は、学校通信などの配布物を読んでいる	2.8	2.7	3.3
問5 私は、学校の掃除をきちんとしている	3.3	3.2	3.7
問6 私は、授業に意欲的に参加している	3.1	3.1	3.7
問7 私は、復習や宿題を家庭でしている	3.1	2.9	3.5
問8 私は、学校で落ち着いて学習できている	3.2	3.1	3.4
問9 先生は、子どもの相談に親身に対応している	3.2	3.2	3.4
問10 私は、毎日楽しく学校に行っている	3.3	3.4	3.2
問11 私は、学校生活のきまりを守っている	3.4	3.5	3.7
問12 私は、自分の夢や目標に向かって挑戦している	3.2	3.1	3.5
問13 私は、誰にでも優しく接している	3.1	3.2	3.5
問14 私は、周りの人の気持ちを考えて行動している	3.1	3.1	3.6
問15 私は、学校行事に積極的に参加している	3.2	3.2	3.6

表1より、ほとんど全ての設問に対して、加重平均値が3.0を超えていることが分かります。つまり、多くの回答者が「Bだいたいそう思う」と回答しています。このことから、学校の教育指導は概ね良好であると言えます。しかし、問2「自分の考えを言葉で表現できる」と問7「復習や宿題を家庭でしている」に対する保護者の数値結果は3.0を下回っています。また、問4「学校通信などの配布物を読んでいる」に対する生徒と保護者の数値結果は、共に3.0を下回っています。従って、これらの点が現在の本校の課題と考えられます。

今回のアンケート結果の特徴として、教職員の数値結果が全体的に高くなっていることが挙げられます。数値が高いのは良いことですが、生徒や保護者の数値結果との差が大きくなっている設問には注意が必要です。例えば、保護者の数値結果が教職員より約0.6ポイント低い設問として、問2「自分の考えを言葉で表現できる」、問4「学校通信などの配布物を読んでいる」、問6「授業に意欲的に参加している」、問7「復習や宿題を家庭でしている」があります。これらの結果から再度生徒への指導方法を振り返るとともに、その指導状況を保護者に正確に伝えていく方法を工夫する必要があると思います。

2. 経年アンケート比較

表1より、問2、問4、問7は、保護者の数値結果が3.0を下回っています。また、この数値は、全て教職員より約0.6ポイント低くなっています。このため、この3問に注目して分析を行います。平成25年7月、平成26年7月、平成27年7月における生徒、保護者に対するアンケート結果の加重平均値について、それぞれ表2、表3に示します。

表2：過去3回分の生徒に対するアンケート結果の加重平均値

生徒用の設問		H25	H26	H27
		7月	7月	7月
問2	私は、自分の考えを言葉で表現できる	2.9	3.0	3.0
問4	私は、学校通信などの配布物を読んでいる	2.6	2.7	2.8
問7	私は、復習や宿題を家庭でしている	2.8	2.9	3.1

表3：過去3回分の保護者に対するアンケート結果の加重平均値

保護者用の設問		H25	H26	H27
		7月	7月	7月
問2	子どもは、自分の考えを言葉で表現できる	2.8	3.0	2.9
問4	子どもは、学校通信などの配布物を読んでいる	2.6	2.6	2.7
問7	子どもは、復習や宿題を家庭でしている	2.8	2.7	2.9

表2より、生徒の数値結果は、全体的に増加傾向にあることが分かります。このことは、教職員の指導による効果が上がっていると思われます。しかし、問4における生徒の数値結果は3.0を下回ったままの状態ですので、「学校通信などの配布物を読む」ことに対する指導を、今後も強く意識して行っていくべきだと思います。

表3より、保護者の数値結果はあまり変化していず、ほとんど3.0を下回っていることが分かります。今後は、保護者に伝えていくことをより意識して、その方法について工夫していくべきだと思います。

4. その他の分析

問1「あいさつを自分から先にしている」とそれ以外の設問についての関係性を調べるために、平成27年7月に実施した生徒に対するアンケートデータを基に分析を行いました。問1に肯定的に回答した生徒のうち、どのくらいの割合が他の設問を肯定的に回答しているのかについて調べました。その結果、問1を肯定的に回答した生徒の約85%以上が、問2「自分の考えを言葉で表現できる」、問4「学校通信などの配布物を読んでいる」、問7「復習や宿題を家庭でしている」、問12「自分の夢や目標に向かって挑戦している」を除いた全ての設問に肯定的に回答していることも分かりました。このことから、中学校教育において、あいさつを奨励する指導は有効であると言えます。